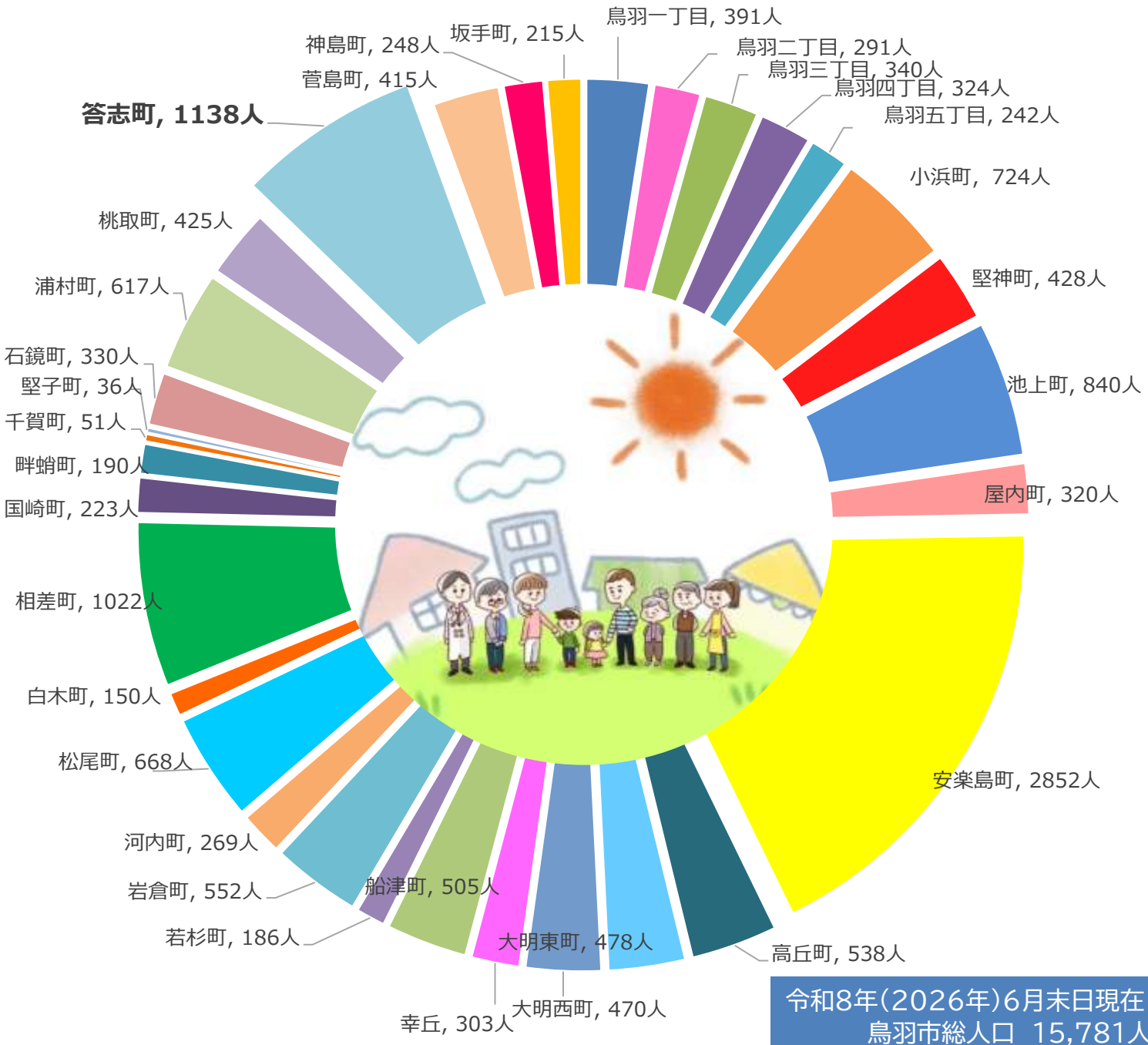
答志

くらしに役立つ情報を紹介！

まちのカルテ



令和8年(2026年)6月末日現在
鳥羽市総人口　15,781人

＊この人口グラフは、住民基本台帳を基に作成しました。実際の自治会・町内会の人口とは異なる地区もあります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【編集・発行】社会福祉法人鳥羽市社会福祉協議会　地域力強化推進事業

あなたはわがまちのことをどれだけ知っていますか？
だれかとつながっていますか？

まちには、高齢者、若者、子ども、外国人、新しく引っ越ししてきた人・・さまざまな人たちが住んでいます。まちによってさまざまなつながりがあります。

しかし、近年つながりの希薄化や、社会的孤立のために、8050 問題やひきこもり、孤立死といった社会問題が危惧されています。日本全体で人口減少が進んでいますが、鳥羽市でも人口が１万人になると予想される今、これからも住み慣れた鳥羽のまちでしあわせにくらすために、まちに住むだれもが、「だれかと」「どこかで」つながりを持ち、孤立することなく、困ったときに「困った」と言えて助け合えることが大切です。

このカルテは、町内会・自治会ごとに、『相談できる場所など暮らしやすさにつながるお役立ち情報』や『人とひとのつながりに関する情報』を、まちの方々に情報をいただきながら作成しました。まちのつながりを「見える化」することを目的としていますので、わがまちのつながりを確認したり、充実させていくきっかけとなれば幸いです。

まちのカルテは、鳥羽市内すべての町内会・自治会にて作成しておりますので、他町のまちのつながりを知ることや参考にすることも可能です。他町内会・自治会のまちのカルテにつきましては、社協までお問い合わせください。（社協のホームページにも掲載されております。）

社協は、誰もが暮らしやすいまちづくりを行うために住民主体の地域福祉を推進する団体です。

「だれかと集いの場をつくってみようかな」
「気になることがあるので相談してみようかな」
そんな時には、社協へお気軽にお問い合わせください。

(鳥羽市社会福祉協議会まちのカルテ)

目次

年間の主な行事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
町内会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
まちのグループ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
くらしや生活に関する悩みごと相談・・・・・・・・・・１０
住民同士のたすけあい・まちをこえたつながり・・・・１１
つどいのマップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
生活情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
おたがいさまのまちづくりをめざして・・・・・・・・・１４
答志×まちトーク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

年間の主な行事

4 育成会　あさりほり

5 保小中合同運動会

6
上旬　老人クラブ　第１回草刈り
答志島３町クリーンアップ作戦
15 日　祷屋祭
下旬　海女の祈願祭
30 日　大祓い

7
天王祭
サワラ網漁解禁

8
初旬　町内会草刈り
漁協　港湾清掃
夕涼み会
盆踊り
本誓寺・潮音寺　大施食会
火入れ
31 日　おいやれ

9
敬老会
伊勢エビ漁解禁

10
老人クラブ　第２回草刈り
船越関連道の草刈り

11

12
育成会　もちつき大会
31 日　大祓い

1
消防団出初式
４日　祷屋祭

2 神祭

3 青年団、消防団　入退団式








答志について

鳥羽港の北東約 2.5 ㎞に位置する鳥羽市最大の島の集落のひとつ。三重県でも有数の漁獲高を誇る漁業と、縄文時代からの歴史、そして伝統文化を継承しているまちです。そのひとつに、戸籍上の兄弟ではない人同士が、終生、兄弟以上の付き合いをする制度「寝屋子朋友会制度」があります。　　（ＨＰ　鳥羽市／答志島（city.toba.mie.jp）　より一部抜粋）





町内会

町内会・自治会とは・・・

　同じ地域に住む人々がお互いの協力のもと、住民同士のふれあいを深め、話し合い、助け合うために自主的に運営されている住民自治組織です。

　活動内容は組織により異なりますが、よりよい地域づくりのため活動を行っています。

（防犯灯維持管理、自主防災活動、地域の親睦交流、ごみ・リサイクル、環境美化活動、広報・情報の伝達、社会福祉活動）



役員	≪役員数　　全 14 名≫ 会長：西川豊幸　　副会長：１名　会計１名 他役員：９名　　監事：２名
任期	２年
組数	16 組
加入状況	加入世帯：280 世帯
活動内容	役員会　月１回 町内美化清掃活動、蜂の巣の除去、イノシシの駆除、子ども福祉活動、町内各種行事主催・共催、防犯灯維持管理
周知方法	広報誌：月１回（町内会報） 町内有線放送：行事案内、緊急放送 掲示板：６箇所 スマホによる緊急放送 答志町内会の SNS があり、BAND を使用して連絡を取り合っています。（173 名加入）
防災組織	自主防災組織があります。 有事の際には消防団、漁協運営委員、管理委員、漁協青壮年部、町内会役員および青年団員で動きます。

　答志町内会では、行政につなぐべき事案は速やかにつなぎ、自立してやるべき事案は自分達の努力で達成できることを目指して、町民の先頭に立って日々活動しています。

まちのグループ

鳥羽磯部漁協答志支所

八

運営委員長：橋本　法則



主な漁業

・一本釣、刺網、船曳網、バッチ網、底曳き網、海女、黒のり養殖、すくい網、たこつぼ漁など２０の業種に分けて取り組んでいます。

・答志集約市場が優良衛生品質管理市場に認定（全国初）・・・場内では帽子や長靴はもちろん、飲食も禁止し衛生管理に努めています。

答志支所の主な活動

・藻場作り（天皇杯受賞）

・全国から春と秋には海辺の学習で小学校や中学校、大学から視察に来られ、漁業についての講演も行っています。

・答志中学生にわかめの養殖や藻場作りの体験を実施。郷土愛を育てるふるさと学習に協力し、「島で漁師をしたい！」という気持ちを育み後継者対策もしています。

・答志町の主な行事は漁協が中心となっているものが多くあります。

・緊急時は「やはた丸」を出動させています。

婦人部の主な活動

・海女や離島振興、海岸清掃など漁協に関する活動をしています。

・現在は婦人会と合併していますが、婦人部部長も婦人会会長とは別に設置しています。

答志老人クラブ　パールライフ鳥羽

会長：濱口　一利

同一地域に暮らす高齢者が集い、会員自らの生きがいと健康づくり、仲間作り、地域を豊かにすることを目的に「健康・友愛・奉仕」を柱とした活動を行っている自主的な組織です。『伸ばそう健康寿命、担おう地域づくりを』を活動テーマとしています。

主な活動

- 神祭にて演芸・踊り・歌の協力
- 6 月には遠足があります。
- 6 月と 10 月、町内～墓地までの草刈り
- 10 月には答志と和具の合同研修会があり、歌や踊りで交流をします。
- 11 月にはしめ縄作りの注文を受けて作っています。
- 1 月の新年大会では、米寿の方を招待して踊りや歌で楽しみます。
- 毎週金曜にはカラオケを楽しんでいます。

婦人会

会長：濱口　知恵

女性によって組織された団体で、祭りや各行事で踊りを披露したり、町内会行事の手伝いをおこなっています。

主な活動

- 町内の各行事・祭りにて踊りを披露し、盛り上げています。
- 浜の草刈り・3 町合同の草刈りへの参加
- リサイクルセンターでのリサイクル積み込みの手伝い
- 子どもたちの稚魚・稚貝パレードの手伝い

青少年育成会

会長：濱﨑　幸弘

町内会や漁協、老人会、婦人会、青年団、警察など答志中学校区にある全ての団体で構成され、様々なイベントを実施しています。イベントは誰でも参加でき、スタッフも限定していません。支える人も支えられる人も全員が主役です。



主な活動

- 4 月　　みんなの潮干狩り
- 8 月 12 日　みんなの夕涼み会
- 12 月　　もちつき大会

漁協青壮年部・青年団

代表：山下　晃・小林　春人

令和８年度から青年団の人数不足により青壮年部と合併し、地域の行事の担い手となって活躍します。

主な活動

・１か月に２～３回、会議を行って色々な決め事をしています。
・天王祭、お盆、神祭など、地域の祭りのほとんどの行事の準備、手伝いを行っています。

鳥羽市消防団　答志分団　第１部、第２部、第３部

答志分団　分団長：中村　真敏

その地域に「住んでいる」「働いている」人によって、「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神に基づき構成される市町村の消防機関であり、普段はサラリーマンや自営業など自分の仕事を持ちながら、災害発生などの非常時には自宅や職場から災害現場へ駆けつける非常勤特別職の地方公務員です。女性が活躍している地区もあります。

主な活動

・消火活動や火災予防への啓発活動、消火訓練
・海難事故の対応(船で出動)
・救急の搬送（漁協と協力して鳥羽まで手当、搬送）
・答志小・答志保育所の子ども達が防火パレードを行う際、一緒に回って啓発活動を行います。

文化保存会

代表：山下　宗善

主な活動

・神祭の演芸
・遊歩道の草刈り（年２回）や整備など地域の環境整備も行っています。

答志健康いきいきサロン（ふれあい・いきいきサロン事業）

開催場所：答志コミュニティセンター

地域の交流の場である「ふれあい・いきいきサロン」は、地域住民を対象として、少人数から気軽に集える場を自主的に開催し、その集いの中で、顔見知りの関係づくりや、地域の支え合いを深めることを目的としています。「気軽に・楽しく・無理なく」をモットーに、それぞれの地域にあった運営の仕方で、楽しい時間を過ごしています。

主な活動

・毎週水曜日　19：00～20：30
・ビデオを見ながらいきいき体操を行い、その後楽しく茶話会をしています。
・みんなで次の内容を考えながら運営していきます。

ふれあいいきいきサロンのページへジャンプします▶

答志にこにこ広場

開催場所： 答志コミュニティセンター
問い合わせ：健康福祉課　子育て支援センター　TEL/FAX：25-7225

鳥羽市子育て支援センターの職員が出向き、子育て中のお父さん・お母さんの仲間づくりをする場所やお子さんと一緒に楽しめる遊びの提供、子育てに関する相談を受けています。

主な活動

- 絵本や紙芝居を読んだり、リースづくりなどの季節に応じた作品作りなど、親子でほっとできる広場です。
- 子育て相談もおこなっています。

答志島活性化２１委員会

「鳥羽市の活性化は答志島の活性化から」のスローガンのもと、漁業と観光業の振興、漁村文化の伝承、島外からのお嫁さんたちの交流、シーカヤック大会などを行ってきました。

主な活動

- 現在は、年に１回ウォーキングのイベントを開催して、健康管理の機会をつくっています。

答志小学校　学校運営協議会(コミュニティスクール)

学校運営協議会は、学校と保護者、地域住民が一体となって学校運営の改善や児童の健全育成に取り組み、「地域とともにある開かれた学校づくり」を進めることを目的としています。学校だけでなく、答志のいろいろな人の力を借りて、これまでよりも子どもたちをよりよく育てていく会にしていきたいと考えています。

主な活動

- 児童が減少し複式学級が増えていく学校の現状を共有し、ボランティアやゲストティーチャーとして教育活動に協力していきます。
- 地域で子どもが安心・安全に生活するために、自転車の乗り方、あいさつ、帰宅について等の声かけを行っていきます。
- 学校の環境美化のお手伝いを行います。



くらしや生活に関する悩みごと相談

民生委員・児童委員

答志民生委員：濱口　幸代　　TEL：0599-37-2367
濵﨑　靖導　　TEL：0599-37-2070



生活上の心配ごとや福祉のサービスに関する悩み、子育ての相談、このほか地域で気になることなど、くらしに関する相談をお受けします。相談いただいた内容は、市役所や関係機関などへつなぎます。

主任児童委員（鳥羽市全域で３名）

主任児童委員：上村　裕子、濵田　浩、砂金（すなご）　郷子

地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配事などの相談・支援等を専門的に担当しています。

地域福祉推進員

答志地区：鎌田　朝美、勢力　恵美子



地域の方の見守りをしたり、福祉の困りごとを発見して、民生委員や必要な機関につないでいく活動をしています。

主任児童委員や地域福祉推進員に関するお問い合わせ
鳥羽市社会福祉協議会　TEL　0599-25-1188　FAX　0599-25-1117

まるごと相談（鳥羽市社会福祉協議会）

お問い合わせ　鳥羽市社会福祉協議会　TEL:0599-25-1188
電話・メール・窓口・訪問　いずれかの相談になります

メール相談専用フォーム
※メール相談は回答までに数日お待ちいただくことがあります



生活の中でお困りのこと、悩みごと、ご近所の方で気になること、どこに相談したらいいか分からないなど、福祉のことならなんでもご相談ください。鳥羽市社会福祉協議会の専門職員（コミュニティーソーシャルワーカー）が不安を解消するお手伝いや、地域の課題を地域で解決するための仕組みづくりを応援させていただきます。

住民同士のたすけあい～有償ボランティア～

協力会員さんを募集しています!!

ほっとスマイルサービス

問い合わせ：鳥羽市社会福祉協議会
TEL：25-1188　　FAX：25-1117



病院の付き添いやゴミ出しなどのちょっとした困りごとを、有償ボランティアの助けあいによって、「だれもが安心して暮らすことができるまちづくり」をすすめていくサービスです。ご利用についての相談などは社協までお問い合わせください。

とばファミリーサポートセンター

申込・問い合わせ：山本　道子
TEL：080-3684-5310
または鳥羽市健康福祉課子育て支援室
TEL：0599-25-1184



ファミリーサポートセンターは「急用で子どもを預けたい」「習い事の送迎」「息抜き」など理由を問わずサポート依頼できます。入会無料。サポート料金有料。子どもが大好きなサポーターと面談の上開始。約 160 人の会員で活動中！有償ボランティアとなるサポーターも募集中です！

離島在住高齢者等通所サービス支援事業（島内介助・船内介助）

問い合わせ：鳥羽市社会福祉協議会
TEL：25-1188　　FAX：25-1117

定期船を利用して移動することが困難な離島在住者を対象に、介護施設等へ通所する際に自宅から桟橋まで付き添う「島内介助」と、船に乗って降りるまで付き添う「船内介助」を行っています。対象者は坂手町、答志町、桃取町、菅島町にお住まいの方で、下記の条件のいずれかに該当する方です。

・介護認定を受けており、本土のデイサービス等を利用するために介助の必要があるとケアマネジャーから認められた方。
・市内の障がい者福祉施設を利用する方。

まちをこえたつながりを紹介します

大人から子どもまで、だれかとどこかでつながって楽しみませんか

※QRコードからアクセスできます

地域・子ども食堂

とば地域・子ども食堂ネットワークに加盟している地域・子ども食堂を紹介します。

QR コードを読み取り後、「とば地域・子ども食堂ネットワーク」をクリックしてください↑

鳥羽市社会福祉協議会　TEL：0599-25-1188
FAX：0599-25-1117

鳥羽市ボランティア団体（ボランティアセンター）

ボランティア活動に興味がある方、ボランティアセンターに登録したい方は社協までお問い合わせ下さい。

QR コードを読み取り後、「団体紹介」をクリックしてください↑

鳥羽市社会福祉協議会　TEL：0599-25-1188
FAX：0599-25-1117

鳥羽市内スポーツ団体

スポーツを通して大人も子供も楽しみませんか！

鳥羽市体育協会

鳥羽市スポーツ少年団

鳥羽市教育委員会生涯学習課 TEL：0599-25-1271
FAX：0599-25-1263

市民活動団体 108SMILE

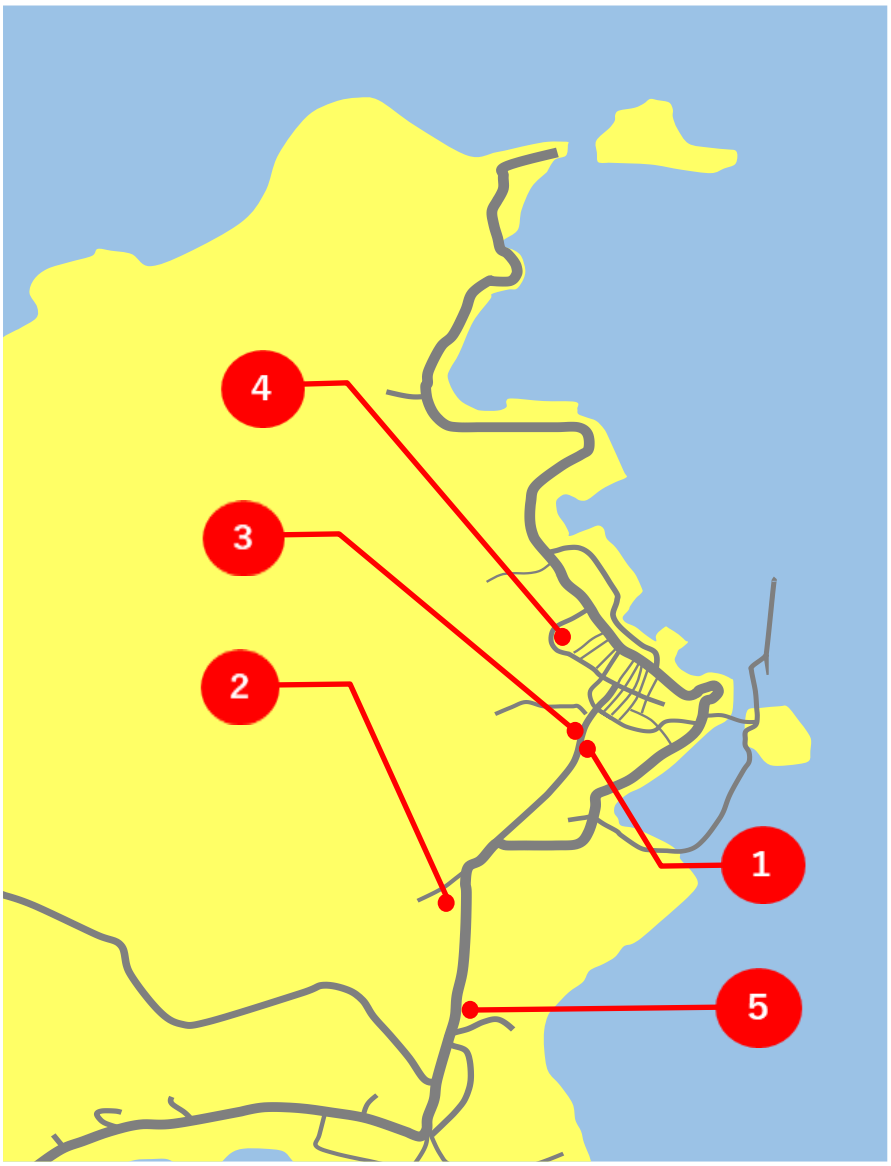
市ホームページにて市民活動団体を紹介しています！くわしくは、QR コードを読み取ってご覧ください。

108SMILE

市民課人権・市民交流係 TEL：0599-25-1126
FAX：0599-26-3323

つどいのマップ

憩いの場や公園など地域の方が集える場所を
マップにしました♪



1 コミュニティセンター憩の家



2 つばき公園



3 舞台の角



4 寝屋子の館



5 コミュニティアリーナ













生活情報

生活

●食料品店:
　　タケナカ(よろづや)、八百安、はまよし(パン)
●酒店:タケナカ、大平屋、マルト
●食事処:喫茶みはま、マルト、チェック、喜久屋
●ガソリンスタンド:丸武石油店　漁協
●理容店:武中理容店、パーマとよ
●電気屋:タケナカ

保育所

●答志保育所

ゴミの集積方法

●可燃ごみ　月、金
＊7 月中旬～9 月中旬は水曜日も回収
●金属ごみ・布団類　月1回
●粗大ごみ　3 か月に 1 回

ゴミ分別に
迷ったら→

●リサイクルごみ　段ボール、本・雑誌・新聞紙・チラシ等
※2 週間に 1 回土曜日に積み込みを行いますが、リサイクルセンターは毎日開設しています。

桃取診療所行きバスについて

● 診療所の診察日に運行しています。
旧漁協前発　和具ハマウ前経由　桃取診療所行き
8:30　と　13:00（旧漁協前発）

福祉事業所

●医療法人豊和会　デイサービスセンター答志島

公共機関

●答志連絡所

公共交通機関

●鳥羽市営定期船

緊急時の救急船

●自家用船が基本ですが、やはた丸が正式に緊急搬送船となりました。

避難所

●津波避難場所
答志保育所、つばき公園
●風水害等避難所
洪水:答志コミュニティアリー2 階、
答志保育所
土砂:答志コミュニティアリーナ2階、
答志小学校
指定避難所:
答志コミュニティアリーナ2階
答志コミュニティセンター

宿泊施設

●旅館:美さき、中村屋、
やしま旅館、ニューやま七、寿々波
●民宿:富栄

教育機関

●鳥羽市立答志小学校
●鳥羽市立答志中学校

医療機関

●おち歯科医院

おたがいさまのまちづくり



をめざして

鳥羽市社会福祉協議会
地域力強化推進事業

鳥羽市の人口は令和 8 年 6 月末現在 15,781 人です。今後ますます人口減少、少子高齢化のスピードがアップし、財政的にも人的にも福祉サービスだけに頼ることが難しくなり、制度では対応できない困りごとが増えていきます。困ったときや手助けが必要な人を見つけたときに、ご近所の人たちや社会福祉協議会、自治会、行政、民生委員、ボランティアなどが協力し、お互いさまの関係で助け合うことができる地域の絆が「地域力の強化」につながります。

いま、日本じゅうで、このような困りごとを抱える方が増えています

◎介護と育児の問題を同時に抱える人（ダブルケア）
◎80代の親と働いていない50代の子が同居する生活困窮世帯（8050 問題）



1 つの世帯で複合的な課題を抱えている

◎からだが弱ってきて買い物に行けなくて困っている
◎掃除や料理、ゴミ出しなどをする事ができない



公的な福祉の対象ではないが、支援がなくて困っている

以前ならご近所の方に助けてもらうこともできましたが、町内でのつながりがうすい場合は、誰にも相談できず、気づかれずに孤立して、問題を深刻化させるケースも少なくありません。住民の困りごと、町の困りごとを社協も一緒になり、課題解決に向けて考えます。



地域で支え合う関係づくりをめざして、次の取り組みを行います！

まるごと相談

住民の困りごとや地域の課題など福祉に関する困りごとをまるごと受け止めます。

町内で受け止めた個人や町の困りごとを社協も一緒に考えます。



まちのカルテ更新

いまある「まちのつながり」や「相談できる場所」を「見える化」します。このカルテをまちの支えあい、つながりづくりのきっかけにしていただけたらと思います。



まちトーク

住み慣れたまちで安心して暮らせるように、地域の困りごとや課題について、日ごろ感じていることを話し合い、地域全体で課題を解決していくしくみづくりを一緒に考えてみませんか。

まちの資源・課題の発見、顔の繋がりの強化、担い手の発掘、課題解決に向けた取り組みにつながるなどなど、さまざまな効果があります。

話し合いから成功体験までを応援する 地域力アップ応援金！

まちトークの話し合いをもとに、住民主体の取り組み（居場所づくりや、見守り・買い物・ゴミ出しの生活支援など）を始めたいときには、スタートアップのための補助金制度があります。詳しくは社協までお問い合わせください。

お問い合わせ先　鳥羽市社会福祉協議会　TEL 0599-25-1188　FAX　0599-25-1117

答志×まちトーク（令和元年6月 26 日　第１回まちトークにて）

答志町のより良い未来の為に地域のみんなで考えました。

地域の強みや良いところ

子どもは大人とコミュニケーションとれている

どの家にも声をかけ
目をかけてやる大人の姿、見守り

島全体で子育て。子どもたちを大切にする
子どもたちに、悪いことをしたときに注意できる

平和でけんかはあるけど殺人はない、
犯罪はほとんどない、安全

子どもたちであそべる
安全な遊び場

人づきあいが良い、
近所におすそ分けをする

誰にでも声掛けする

静かでよい

5 時になるとみんな家へ帰ってくる

人と人との強い絆

教育がしやすい島、
不登校がないところ

朋輩と飲める

皆がどこの子かわかっている
島外の人と区別できる

生活しやすい

仲間意識がある

家族が多い

寝屋子、朋友会による絆のまち

子どもたちを日常的に見守りしている

墓がきれい
（先祖を大事にしている）

祭りなどみんなでもりあがる

治安が良い

コミュニケーション能力が
高い

緊急の時(事故・災害)
助け合いができる

漁業、観光、歴史のまち

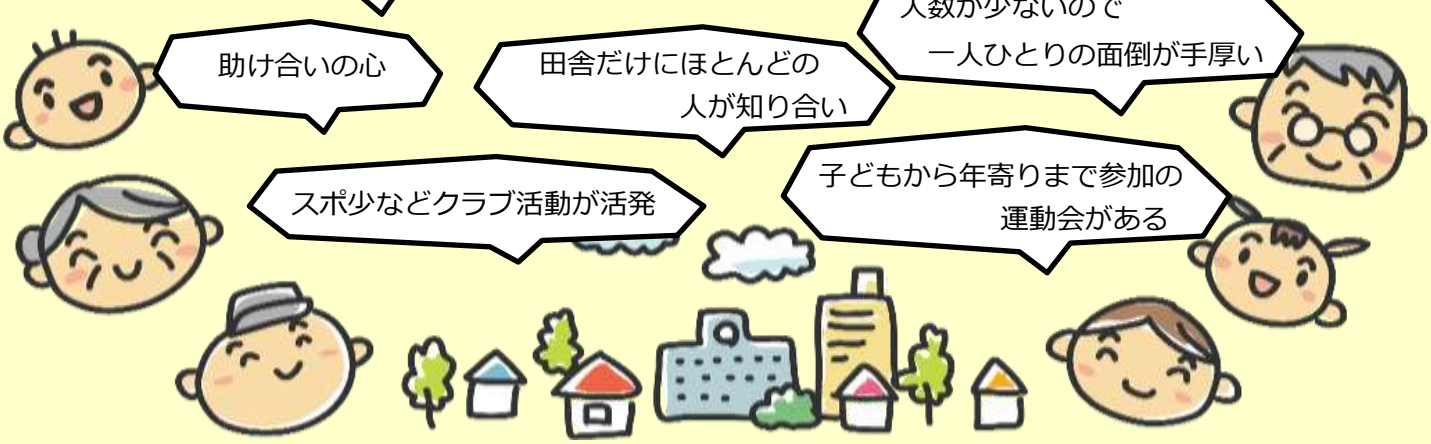
人数が少ないので
一人ひとりの面倒が手厚い

助け合いの心

田舎だけにほとんどの
人が知り合い

スポ少などクラブ活動が活発

子どもから年寄りまで参加の
運動会がある



地域の課題や生活福祉課題（地域の困りごと・心配事）

雇用・仕事

・お客さまの足が答志に向いてきてほしい

保健・福祉・医療

・0 歳からの土曜保育
・定期健診が一日がかり
・夜間医療がない
・病院へ行くのに半日、一日がかり

社会参加・教育

・ 学校を残したい
・ 祭りの存続の心配
・ 中学校がなくなる

安全・交通

・空き家がこわれていて近所に迷惑
・災害への対策が不充分である
・橋がない
・シートベルト、ヘルメットの知識は高まったが、まだ不十分である
・世古にバイクなどがたくさんおいてあり、もしものときは困るかもしれない
・子どもの飛び出しがある
・駐車場料金・船賃が高い

居住環境

・獣害
・焼却炉がない。夏にゴミが匂う　ゴミ問題
・物価が高い
・買い物をするのに船に乗っていかないといけない
・店が少ない
・駐車場が少ない
・はなしあう場がない
・子どもの遊ぶところが少ない
・野良猫に対する餌付け問題

人のこと

・後継者がいない
・島を出ていく人が多くなっている
・人口減少。若者、子どもが少なくなってきた

地域で取り組んでいきたいこと、今後の展開、方策について



・答志で生まれた子どもが答志で大きくなったら人口は減らない。
・お金を出し合って医者を育てる。
・下を向いて歩いている子どもに声をかける。



・祭りごとを協力する。
・共同作業。 奉仕作業。
・昔からの行事は続けていく。
・もっと本音の話し合いの機会をつくる。



・経済が活性化することによって人口減少を食い止めることができると思う。
・橋を架けてほしい。
・意見が言える場で進んで話をしていく。
・フリー学区にして市外のみでなく、市内でも入学させる。
・お酒を飲んだら車に乗らない。
・人を増やす。
・医療の充実。
・案があればやっている。なかなか難しい。
・働き口をみつけないと(作らないと)いけない。

鳥羽市社会福祉協議会
ホームページ

福祉ウェーブ

公式インスタグラム

公式フェイスブック

まちのカルテ
初回アセスメント：2019 年 7 月 10 日
最終更新日　　：2026 年 8 月 14 日

お問い合わせ： 社会福祉法人鳥羽市社会福祉協議会　福祉推進係地域力強化推進事業
〒517-0022　三重県鳥羽市大明東町 2-5　鳥羽市保健福祉センターひだまり内
TEL:0599-25-1188　FAX:0599-25-1117
mail：soumu@toba-shakyo.or.jp